

地域に学んだ3日間・キャリア教育の取り組み

く 木山中学校 職場体験学習 く

職場体験学習をとおして
社会を見つめる

「3日間を振り返って、畑での仕事が多く、ものすごく暑いし腰も痛くなりました。お店での仕事ももちろん大切ですが、その前に花を育てるという裏の仕事が一番大切なんだと改めて感じました。仕事の大変さと一つ一つ丁寧に作業する大切さを知る事ができた3日間でした。」
これは、職場体験学習を終えた2年生の感想の一部です。

キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて、必要な能力等を育てる教育です。益城町では、キャリア教育実行委員会が組織されており、地域の連携・協力のもと、中学生の職場体験学習が行われています。

本校では、2年生の総合的な学習の時間において、「社会を見つめる」というテーマ学習に取り組んでいます。1学期はその一環として、キャリア教育の視点から、自己の生き方や社会を見つめ、より良く生きる力を育むことをめざして、3日間の職場体験学習を行いました。



益城中央小学校での実習の様子

体験先の事業所等は、各自の進路適性検査や希望調査などをもとに決めました。今年度は、新たに校区内の小学校にも受け入れをお願いしました。

生徒たちは、職場体験学習実施の約1か月前から、学習の意義、あいさつや礼儀の大切さ、心構えなどについて学びを深め、各事業所等へアポイントを取り、事前訪問に伺いました。そして、6月21日(火)から23日(木)までの3日間、町内27か所の事業所等で体験学習を行いました。その後、お礼状を書き、全員が学習

を振り返り、新聞やスピーチでまとめを発表しました。

地域から学ぶ より良く生きる力

3日間、生徒たちが何かとご迷惑をおかけしたのではないかと思います。各事業所等では一人一人を温かく見守りながらご指導をいただきました。うれしいことに、職員が各事業所等を訪問する中で、「あいさつや返事がとてもよくて気持ちいいです」「一生懸命仕事に取り組んでくれています」など、生徒に対するお褒め(ほめ)の言葉をたくさんいただきました。大変ありがたく思いました。

この職場体験学習では、各事業所等における多くの方々のご理解とご協力のおかげで、生徒一人一人が働くことや職業に対する理解を深めることができ、地域における先輩の生き方にも触れることができました。また、地域に対する視野が広がり、自らより良く生きる力を育む良い機会にもなりました。

ご多用な中にご協力をいただきました皆様方に、改めて心から感謝を申し上げます。



町学校給食センターでの実習の様子

◆今回は、次のような事業所等にご協力をいただきました。(敬称略)

あじさい幼稚園、味千ラーメン津森店、髪美遊美容院、河端自動車、九州産業交通バス、倉本園芸、ケアポート益城、JA上益城、創作菓子メルキュール、高遊原南消防組合、つどいの広場とんとん、葉山荘、藤澤自動車、平成唯仁館、益城クリンセンター、益城中央病院、町立第一保育所、町立第三保育所、町立第四保育所、町立第五保育所、町立津森小学校、町立益城中央小学校、町立益城幼稚園、町学校給食センター、ミナテラス(町交流情報センター)、森本農園、山本屋